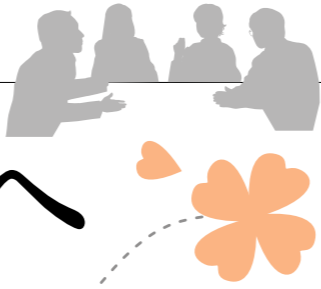


未来の幸田町へのメッセージ



新しい年の幕開けです。皆さんは、新春をすがすがしい気持ちでお迎えのことと思います。新年のスタートにあたり、男女17人の新成人のかたがたにお集まりいただき、幸田町の将来像などを語っていただきました。なお、内容は要約してあります（本文敬称略）。
問合せ 企画政策課情報G 内線 324

自分の夢・将来について

- 質問** 仕事も含めた自分の将来・夢、やってみたいことなどを聞かせてください。
- 榎原** 将来は美容師になって、お店を出したいと思っています。
- 杉田** 幸田で障害者の生活に役立つNPOを立ち上げたいです。
- 甲斐** 英語を生かして、外資系で働きたいです。
- 近藤** 今、会計学を勉強しています。将来は会計関係に就職したいです。
- 山本** まずは学校を卒業して、いろいろな出会いをして決めたいです。最終的には学校の先生になれたらいいと思います。
- 石川** 美容（化粧品）系の仕事に就きたいです。
- 小野** 看護の短大に通っています。看護師になりたいです。
- 河村** 動物系の専門学校に通っていて、現在トリミングの就職活動中です。
- 大澤** 保育士になりたいですが、仕事でやっていけるか不安です。
- 神谷** リハビリについて勉強中で、接骨院に就職が決まりました。
- 星野** 公務員や国税調査官に就けたらいいなと思っています。
- 稲吉** いろいろな資格を取って、幸田町に大きなビルを建てて、そこで働きたいです。
- 内山** 国際経済学を勉強しています。在学中にたくさんのお国を見たいです。



愛知県議会議員
鈴木 正

皆さんあけましておめでとございます。今年は千支の初めの年でもあり、未来に向け新たな気持ちで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、自然災害をはじめ、悲惨な事故や事件が相次いで発生し、社会問題にもなっております。また、最近では市民の皆様も自然災害などの防災に対する関心が高まっており、日常の心がけて被害を最小限に食い止めたいものです。近年では、幸いこの地域には大きな被害はあり

ませんが、常に安全・安心には心がけていものです。
さて、幸田町は自然や地理的条件にも恵まれ、近年の発展は目ざましいものがあります。第5次総合計画の目指す将来像「人と自然を大切にする緑住文化都市」の実現に向け着実に前進しております。一方、産業経済の進展も著しく、財政の健全化に向けた動きの中で、地方間の格差の縮小のための財源保障と財政機能の復元充実を図るなどの取り組みも必要とさ

れているところであります。将来にわたる少子高齢化の進展に伴う福祉施策をはじめ産業構造、価値観の多様化など社会環境の変化の中で新しい時代に適切に対応することが求められております。地方分権と行政改革を一層推進する中で、幸田町の発展を大いに期待するところであります。
皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。



幸田町長
近藤 徳光

年頭のあいさつ



新年あけましておめでとございます。町民のみなさんにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
日ごろは町政に深いご理解とご協力を賜っており厚くお礼申し上げます。
昨年は、市町村運営の根幹となる地方自治法の施行60周年という節目の年でありました。激動の60年間と言われるほど市町村を取り巻く環境はめまぐるしく変化してまいりましたが、本町が今日まで飛躍的な発展を遂げることができたのも町民のみなさんを始め先人の方々の不断のご尽力のおかげであり、あらためて心より感謝お礼を申し上げます。
自治法施行の昭和22年当時は1万以上あった全国の市町村数が、昭和の大合併と平成の大合併等により、現在では2割弱の1,797（平成20年1月1日現在）となりました。愛知県の市町村数も222から53に減少し、うち町村数では213から28となり、今後減少が予想されます。
本町は、既にご承知のとおり平成17年

3月末までを特定期限とする合併については見送ることとなりましたが、今後さらなる地方分権、道州制の動き如何によっては町のあり方を検討する必要があると考えます。いずれにしても本町は、地理的条件にも恵まれ、鉄道・道路交通網や優良企業の進出などを始めとする社会基盤の整備が進んでおり、全国的に人口減少が進む中で人口36,700人を数え、今後増加が見込まれます。本町の将来展望を念頭に置きながら、第5次幸田町総合計画に基づき、『人と自然を大切にする緑住文化都市』そして夢と活力のあるまち幸田の実現に引き続き努力を傾けてまいります。
さて、今年予定しております給食センター移設事業、幸田小学校増築事業、深溝運動場整備事業、道の駅建設事業等ももとより、今日的課題であります福祉医療、教育、環境、防災防犯など町民のみなさんのニーズに可能な限り対応努力してまいります。そして、総合計画の骨格である東海道本線幸田駅、三ヶ根駅、

新駅（仮称相見駅）とハッピーバス・ビル・幸田の4極を核としたまちづくり『3駅プラス1』を着実に進めていくことが、今後の行政推進の最大の課題と考えます。特に、新駅の実現の可能性が高まる中、JR当局において今年の3月までには建設負担額が示される予定であり、同時にまた幸田駅前を中心市街地活性化事業も計画的に推進していく必要があります。これらの財政負担の面等について、町民のみなさんの格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。
なお、昨春開通しました名豊道路（国道23号バイパス）は、本町の道路網の東西軸として最近特に物流が盛んとなってきており、沿道の企業誘致等の周辺開発に努め、バランスのある発展にも一層の力を注ぎます。
今年の子年、本年が明るく希望のもてる年でありますように、そして町民のみなさんのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

未来の幸田町へのメッセージ



おおさわ たくや 大澤 拓也 さん
六栗区



おの さわ 小野 紗和 さん
久保田区



かわむら みどり 河村 緑 さん
里区



かみや よしか 神谷 佳花 さん
市場区



ほし はるな 星野 春奈 さん
市場区



うえむら かよ 植村 佳世 さん
横落区



わだ みか 和田 美佳 さん
鷺田区



わだ かな 和田 加奈 さん
鷺田区



こんどう あき 近藤 亜樹 さん
大草区



いしかわ さよ 石川 紗代 さん
坂崎区

今の幸田町に感じること

本田 三重で住宅関係の就職が決まりました。いずれは幸田へ帰ってきたいと考えています。

和田(美) 幼児教育を勉強中です。植村 看護の学校へ通っています。病院で働けるように頑張ります。

和田(加) 作業療法士、リハビリについて勉強しています。

町長 (将来やってみたい仕事)が我々の頃とは違いますね。美容関係から外資系など様々ですが、将来の夢がかなうよう頑張ってください。

幸田町をこんな町にしたい

大澤 幸田町ではバイトの賃金が決まっていると聞きましたが、本当ですか？

町長 一般的にはそういうことはないはずですが。ただし、町が雇う場合は、最低賃金法などが示す額を下回らないようにして決定しています。

質問 今まで幸田町に住んでいて感じたことなどを聞かせてください。

山本 幸田町という名前が残っていることがとてもうれしです。逆に幸田の名前があまり知られていないことが残念です。大学の友人も知らなかったのでもう一度...。

神原 幸田町はこの先合併は考えていますか？

町長 幸田町は目下のところ財政力もあり、合併はしなくても大丈夫だと思っておりますが、今後さらに地方分権が進み、道州制などの動きによつては、考える必要があります。

神原 相見駅はできるのですか？

町長 JRと覚書を締結しました。現在は駅ができるかについて調査を進めている段階です。実現可能かどうかはわかりません。

質問 こんなまちにしたいなど、町に対する希望を聞かせてください。

内山 スポーツ施設が少ないと思います。

町長 スポーツ施設に関しては、深溝運動場の建設を現在進めています。また、総合体育館の要望があることは承知していますが、建設費用などの問題があり、今しばらくお待ちいただきたいです。

本田 大型病院がないのが残念です。岡崎や蒲郡に行かなければならないので。

星野 総合病院があると便利だと思います。

町長 総合病院の必要性は感じていますが、医療圏の面や莫大な費用(ベット2000床で200億円以上)がかかる、医師の確保など、町立では難しいです。大学病院や医療法人抑制の面からご理解いただきたいです。ゴミは岡崎で処理してもらっていますが、量が増えればその分費用がかかります。資源化できるものは資源化して、少しでも量を減らすよう努力しています。

星野 親も高齢者になりつつあるので、高齢者に優しいまちになってほしいです。

大澤 今の幸田町が好きなので、緑を残してほしいです。開発もやっていますが、緑を残しながら開発を進めてもらいたいです。

神原 緑のある場所はそのままにしてほしいです。

町長 緑のある場所はまとめて残すようにしています。

近藤 中学校などの行事が岡崎に比べて少ないと思います。スキー教室とかを開催したらおもしろいと思います。

町長 若者が参加するイベントが少ないかも知れませんが。教育委員会などよく検討してみます。

町長 皆さんの幸田町をよりよまにしたいという強い思いが伝わり大変ありがたいです。今回いただいた意見を大いに活かしつつ、町の将来像である「人と自然を大切にす緑住文化都市」の実現を目指し頑張ってください。

など民間誘致の打診努力をしていますが、難しいのが現状です。

神谷 (逆川の) 帰り道に街頭が少なく、暗くて危険だと思います。

町長 明るくするようについでに、事故が多いです。信号が増えるといいなと思います。

内山 駅前商店街が少し寂しいと思います。年代を超えて行き交うまちが欲しいなと思います。

町長 駅前の活性化計画に力を入れています。駅前の道の広さを都市計画により倍以上に広げ、歩車道に区分し、また街路樹も設け、町の玄関口としてまいります。

近藤 駅前にちよつと立ち寄れるカフェのようなところがほしいです。

町長 カフェのようなしゃれな所はまだありません。駅前を上を住宅、下を店舗にする計画を進めます。

小野 中学のときにユースタアの前の壁に絵を描きました。思い出にもなるし、いい活動だと思います。

町長 幸田中学校やあけぼの第一幼稚園にも描いてありますね。ああいうものを見ると夢がふくらみ、気持ちなごみますね。

植村 コミ袋が高いと思います。1枚が10円以上もします。

町長 現在は45円、小30円、今度特小20円を作ります。ゴミ袋は3分の1くらい利用者負担という国の指針もあり、これに沿って町も決めさせていただきます。

抑制の面からご理解いただきたいです。ゴミは岡崎で処理してもらっていますが、量が増えればその分費用がかかります。資源化できるものは資源化して、少しでも量を減らすよう努力しています。

星野 親も高齢者になりつつあるので、高齢者に優しいまちになってほしいです。

大澤 今の幸田町が好きなので、緑を残してほしいです。開発もやっていますが、緑を残しながら開発を進めてもらいたいです。

神原 緑のある場所はそのままにしてほしいです。

町長 緑のある場所はまとめて残すようにしています。

近藤 中学校などの行事が岡崎に比べて少ないと思います。スキー教室とかを開催したらおもしろいと思います。

町長 若者が参加するイベントが少ないかも知れませんが。教育委員会などよく検討してみます。

町長 皆さんの幸田町をよりよまにしたいという強い思いが伝わり大変ありがたいです。今回いただいた意見を大いに活かしつつ、町の将来像である「人と自然を大切にす緑住文化都市」の実現を目指し頑張ってください。



いなよし たかふみ 稲吉 崇文 さん
逆川区



うちやま たかよし 内山 貴淑 さん
市場区



か い ふみや 甲斐 史也 さん
鷺田区



やまもと たつりのり 山本 辰典 さん
鷺田区



すぎた いずき 杉田 泉樹 さん
鷺田区



ほんだ けいすけ 本田 佳祐 さん
岩堀区



さかきばら こうへい 榊原 康平 さん
高力区

第60回 幸田町成人式

2008・1・14(祝)

町民会館 さくらホール
受付：午前9時30分 開式：午前10時

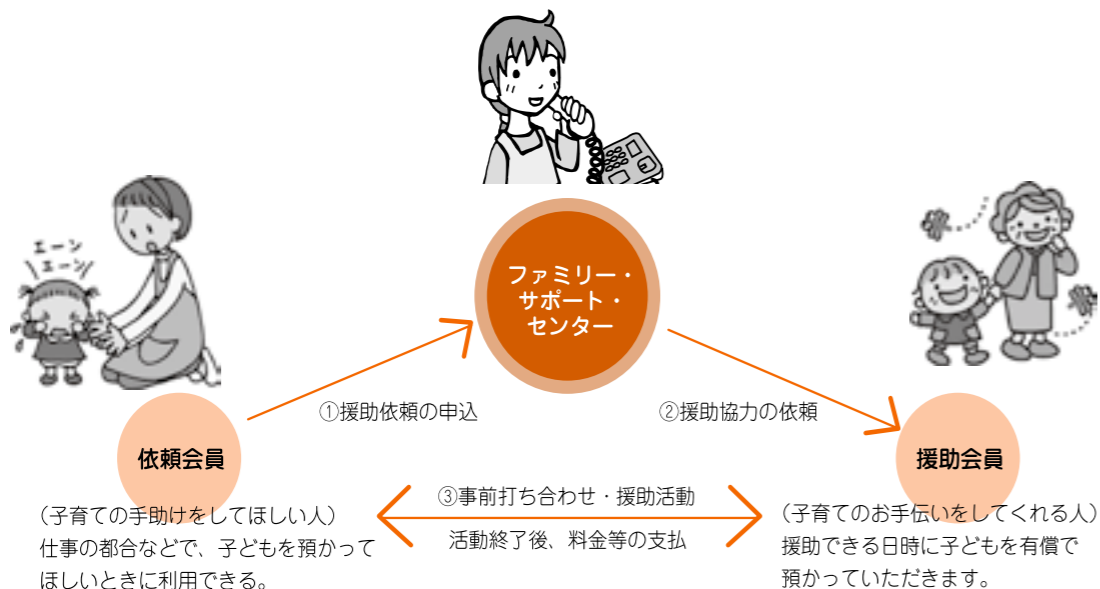
新成人データ (H19.12.1)
男性 191人 女性 228人 合計 419人



“くりくりひろば”においてよ!!

ファミリー・サポート・センター事業概要

子育ての援助が必要な**依頼会員**と援助を提供する**援助会員**とで構成された、子育て支援組織（有償）です。会員の仲介は、ファミリー・サポート・センターが行います。依頼会員は、随時、入会の説明を受けていただくことで入会できます。援助会員は、3か月ごとに行われる講習会を一度受講していただくことで入会できます。その際に両方会員の登録をして、利用と活動の両方をする事も可能です。次回の講習会は、2月28日（木）午前10時から正午の予定です。現在、132人が会員登録され、少しずつ利用・活動の輪が広がっています。いずれの登録も、くりくりひろば（上六栗子育て支援センター ☎ 62 - 4718）で行っています。



子育てサークル

親子が集まって、おしゃべりを楽しみながら情報交換をし、友達づくりを楽しみます。

とき 毎月2回 午前10時～11時30分

ところ くりくりひろば ひよこの部屋

対象者 入園前の乳幼児とその親

参加費 無料

そのほか サークル活動は、横落・深溝児童館、坂崎公民館でも行っています。詳しい日程などにつきましては、菱池子育て支援センター（☎ 62 - 8333）へお問い合わせください。



よちよちサロシ

初めてママが集まって、おしゃべりを楽しんだり、情報交換をしながら友達づくりをします。保育士と一緒に歌を歌ったり、ふれあい遊びをして楽しく過ごしましょう。

とき 毎月1回 午後1時30分～2時30分

生まれ月で12グループに分かれて6回実施します。

ところ くりくりひろば ひよこの部屋

対象者 第1子（5か月くらい～1歳未満）を子育て中のお母さんと赤ちゃん

参加費 無料

持ち物 バスタオル

申込み 菱池子育て支援センター ☎ 62 - 8333



“くりくりひろば”においてよ!!



上六栗子育て支援センターの愛称を募集し、「くりくりひろば」に決定しました。皆さんぜひ遊びに来てください。 (くりくりひろば ☎ 62 - 4718)



▲くりくりひろばに設置されている大型遊具



プレイルーム

親子が自由に遊べる場所として、プレイルームを開放しています。

予約の必要はありませんので、お気軽にお越しください。

開放日 月～金曜日 午前10時～午後3時

*ただし、土・日・祝日・年末年始は休館。

また、支援センターの行事などのため、休館する場合があります。

対象者 入園前の乳幼児とその親

参加費 無料

そのほか 毎週月曜日の午前11時30分から歌とお話の会を開催しています。

